

平成22年5月17日

## 前年度の活動をベースに 大阪の魅力づくり、元気を発信!

岸本敏裕氏が代表幹事に就任してから1年経過。部会やチームの活動が活性化し、22年度のベースが調いました。今号では21年度後半の活動を中心にご紹介いたします。

### 異分野ネットワークを 22年度はさらに強化

代表幹事

岸本敏裕

昨年、新型インフルエンザ渦の中で当会の総会が延期になり、神戸製鋼ラグビー部GM兼総監督の平尾誠二さんの記念講演・ネットワークパーティーが中止になってから早1年が経ちました。この1年も厳しい経済状況が続く中、「なにわ名物の開発を通じて大阪を元気にする」という目標を掲げ、活動してまいりました。既存事業の継続と月例会開催が中心となりましたが、月例会は副代表・部長をはじめとする担当幹事の企画力と豊富な人脈を駆使した内容で、いずれも有意義なものとなり、参加者からも好評でした。また、商品開発部会マケテイングの勉強会が新しく立ち上がり、大阪学チームも復活、緩やかではありますが、当会の活動が活性化しているのは嬉しい限りです。

そして、第12回を迎えた

「なにわ大賞」は、大阪を元気にしている個性的な「いちびり」さんから多数の応募をいただき、贈呈式(もてい式)を賑やかに開催する事ができました。本年も第13回なにわ大賞の候補者を募集していきます。どんな方々がご応募くださるのか楽しみにしております。

「儲ける」に特化し、継続して勉強会を開催

商品開発部部長 山本佳明

商品開発部会は、商品開発から販路支援まで商売に役立つ「儲ける」ことに特化した部会です。平成21年度は、原テルキ顧問によるマケテイング勉強会を、

「グルメ企画」を実施

大阪学チームリーダー 古川武志

長らく休眠状態であった大阪学チームも、最近むくむくとヤル気が湧いて



「丸萬本家」は戎橋の南詰に1864年創業。現在は堺筋本町に店舗を移し、八代目の後藤隆平氏が「魚すき」の調理法・味を守っています。一般によくある魚ちりや水だきとは異なる味に、参加者は上機嫌でした。

## 会員情報 当会の会員を順次ご紹介していくコーナーです。



### タイガースファン御用達のTee「虎」。

虎一色の店内で注目したいのが、パターンオーダーのブレザー。裏地はタイガース柄、内ポケットには球団旗の刺繍、ボタンまで虎マーク…。表地・裏地・パーツをそれぞれ数種類から選んでシングル3万4,650円。これで「いつも心にタイガース」。球団マーク入りのネクタイやシャツもある。

■担当: 中村英二(大阪市中央区/ 06-4790-1212)

株式会社ヤングブラッド <http://www.torachinet.com/>



### 「道頓堀」でランチ・宴会・宿泊…、しかも!

地下鉄・近鉄「日本橋駅」から3分の道頓堀川畔。2名~100名の部屋を貸切にしてランチや宴会といえばココ。ぶぐ、クエ、鱧、松茸、カニなど旬の味覚に加え、神戸牛を使った美食も味わえる。館内に宿泊施設やサウナ・大浴場まで揃っているうえに、女将がべっぴんさんというウツサも…。

■担当: 石橋利栄(大阪市中央区/ 06-6211-3587)

株式会社大和屋本店 <http://www.yamatoyahonten.co.jp/>



### 「粟おこし」を作り続けて250余年の老舗。

1752年、初代・津の国屋清兵衛が「粟おこし」の製法を確立。以来、品質改善・市場開拓など創意工夫を重ね、「ニツ井戸 津の清」で知られる老舗。現社長は9代目。キャラメルやアーモンドを加えた「アレンジおこし」、一口サイズなど、現代人の味覚を考慮した新製品の開発にも余念がない。

■担当: 中村一三(堺市堺区/ 072-226-0722)

株式会社つせ <http://www.tsunose.co.jp/>



### 珈琲屋さんの「手作りドーナツ」は必食!

コーヒー豆の焙煎・卸を主とし、ブラジルの契約農園で収穫した豆に定評がある。自社併設のカフェで、コーヒーに合う手作りドーナツも販売開始。国産小麦と国産米粉をブレンドして米油で揚げた「金のドーナツ」「黒のドーナツ」など4種類あり、サクふわの食感に早くもリピーターが続出。

■担当: 島野渉(大阪市平野区/ 06-6799-8000)

島野珈琲株式会社 <http://www.shimano-coffee.com/>

# 毎月、バラエティに富んだ月例会を開催!

当会では、毎月、例会を行っています。講師を招いた講演・勉強会のあとは、プチ懇親会も実施。ほかにも大阪らしいレクリエーションが盛りだくさんです。今号では21年度の後半の例会をご紹介します。

## 「なにわ名物開発考社」 マーク認定ってなに?

平成21年10月28日

当会の商品認定制度「なにわ名物考社マーク」について会員さんに認識を深めていただく目的で、認定委員長・北出芳久氏による勉強会を実施。ご当地ブランドの通称で知られる「地域団体商標」の全国各地の

登録状況や、大阪府環境農林水産部が推進している「大阪産(もん)ブランド」の事例を交えながら、考社マークの位置づけや今後の展望について話していただきました。この日の時点で認定商品は、雑貨・食品を中心に49品目。以下の写真4点は、認定商品の一例です。



## 昭和初期へタイムスリップ 飲めや歌えの大忘年会

平成21年12月10日



昭和初期には200軒を超える妓楼が軒を連ねた飛田新地。当時の風情を色濃く残す町にある料理屋「鯛よ百番」で忘年会を行いました。ここは大正初期に遊郭として建てられ、いまも当時の面影を残しています。まず、すき焼きで腹ごしらえ。続くメインイベントは、講師・旭堂



南陵師匠による春歌(しゅんか)の指導? 名調子で始まったのは、「時は珍宝元年サネ暁の頃、工口城下を騒がすは、怪盗サネなしのお万」。本紙にはこれ以上書けません…。講談調あり、替

え歌あり、身振り手振りありで、全員お腹を抱えて大笑い。最初は呆れていた人達も、ついには一緒に大合唱。オトナの夜は更けていきました。



## DVDを見ながら 社員の仕事を評価!

平成21年11月27日

当会会員であり、社会保険労務士の所信昭氏に、「人事評価」に関する講義をお願いしました。上司1人と部下3人が登場するドラマ

のDVDを見て、参加者各自が登場人物の仕事ぶりを評価。判断が付きにくいシーンもあり、「こいつはウチでは雇わん」「いやウチでは雇いたい」といったヤジも飛び交いました。あとで所氏から解説もあり、部下への指示の出し方についても学びました。



## お祓い神事 新年互礼会

平成22年1月28日

第一部は、獅子舞台がある「難波八阪神社」で、お祓い神事。第二部は、道頓堀川畔「大和屋本店」で新年互礼会。岸本敏裕氏が代表幹事に就任し



てから初めての新年互礼会です。今年が目玉企画は、女流講談師・旭堂小二三さんの講談。一人でも何役も語り分ける話術に聞き惚れ、その姿に見惚れるばかり。初めて講談を聞いたという参加者から

も大好評。美味しい料理に舌鼓をうち、参加者同士の交流も深まりました。最後は、協賛品による「はずれナシの抽選会」のあと、恒例の大阪締めとなりました。

## 関西のユニークな企業・ 商品をとことん紹介

平成22年2月26日

「日本一明るい経済新聞」の竹原信夫編集長に、関西で頑張っている中小企業・経営者、そしてユニークな商品をとことんご紹介いただきました

ました。マジシャンのごとくカバンの中から次々と商品を取り出し、開発秘話や消費者の反応について語る姿に、参加者は釘付け。自社で活かせるヒントをたくさん入手しました。後半は、会員の浪花酒造・成子と弘氏、コムワークス・松田ふさお氏をはじめとする5人が、自社の悩みを相談。



## 売れる! ビジネスアイデア発想法

平成22年3月29日

元・進学塾の国語教師、校長職3年の経歴を持つ「指導のブロ」であり、販促・宣伝アドバイザー、ビジネスセミナー講師として活躍中の(資)企画屋プレス代表・山口照美氏を講師にお招きしました。著書の「企画のネタ帳」にもある多彩な事例を盛り込



式の発想法にトライしました。終了後は、プチ懇親会。実はこの日は、野村会長の誕生日。荷造りヒモで作ったクジで「ランチデート」のお相手を引き当てる、サブライズ企画が用意されていました。幸運(?)にもお相手に選ばれたのは、長寿堂恵佳の山本氏。おめでとうございます。

んだ資料は、練習問題付き。「アイデア脳」になるための発想法をレクチャーしていただき、参加者はビジネスの悩みを言語化するコツを学びながら、キーワード



勉強会のテーマや講師の選択はもちろん、宴会ひとつにしても趣向を凝らす「なにわ名物開発研究会」。21年度後半の6カ月間を振り返り返ただけでも内容満載。また「老眼にキビシイ紙面」になってしまいました。最後までお読みいただき、ありがとうございました。今号から「会員情報」のコーナーを設け、個々の会員も紹介していきます。急なお願いにもかかわらず今回は4会員さんがご協力くださいました。ありがとうございます。ご応募お待ちしております。

さて、22年度も楽しく賑やかなスタートを切りました。7月28日に開催の第13回「なにわ大賞」に向けた準備も順調に進み、応募受付も始まっています。大阪らしいユニークな活動をしている個人団体を、自薦他薦を問いません。大賞賞金20万円をはじめとして、各賞をご用意しています。締切は平成22年6月25日必着。募集要項・応募方法の詳細は事務局までお問い合わせください。

**新 / 会 / 員 / 募 / 集 / 中 /**

なにわ名物開発研究会は、大阪で頑張るメーカー、流通、サービス、コンサルタント、クリエイターなどの業種・業態、ついには「業」さえも超えたヒト・モノ・コトのネットワーク組織です。毎月の例会を始めとする多彩な行事で、会員間の交流・関係諸団体との交流を図りながら、大阪の活性化を目指しています。現在、新会員を募集中。詳細は事務局までお問い合わせください。

【正会員】入会金10,000円・年会費36,000円  
【準会員】入会金 5,000円・年会費18,000円

電話 06-6947-5260  
mail info@naniwa-meibutsu.com  
URL http://naniwa-meibutsu.com/

**なにわ名物** **検索**

ご希望の方に、当会のリーフレットを差し上げております。

